

昔ばなし語りの会

こわ〜い話

2024年8月18日(日)13:30~15:30

上田創造館〈民俗資料館〉



塚越 紗衣 画

主催 塩田平民話研究所・上田創造館

本日の語り

「絵にかいた猫」 中村 安子

「あの世からのことづて」 坂井 弘子

「じいさん、いるかい」 金箱 陽子

「橋姫」 坂井 弘

「蛇の湯治」 小林 寛恵

「土を食った婆さま」 市川 和枝

「炭焼きかかの首」 稲垣 勇一



本日は、お越しいただきありがとうございます。

前回 6月30日の「昔ばなし語りの会」で お寄せいただいたご感想

- 「あずきとぎ」 始まりの泥っかすの子どもの声がリアルでした。
「猫檀家」 低音が魅力の声でした。
「おおかみの眉毛」 とても不思議なストーリーでした。
「五郎びつ」 心穏やかに聞いていましたが、最後に急展開の災害の話への人情物語。自然災害の備えの大切さを学びました。
「八幡様の狐」 お話の後の逸話もおもしろかったです。母親のことが気になりました。
「へび女房」 母親の愛の大きさを伝える話でした。
「クチナシの花」 毎日のあたりまえの生活の大切さを教える話でした。
「花野の娘」 普段の生活が大切なお話でした。
- 毎回楽しく拝聴させて頂いております。今回も穏やかなひとときを過ごさせて頂きました。昔話に聴き入り、毎日の大変な事や気持ちを流して頂き、すっきりとした自分になりました。ありがとうございました。
- 亡き母は真田の出。小さい頃、あずきとぎのこと、聞かされました。おりこうにしていないと連れていかれると。十数年たった今、大変懐かしく聞かせていただきました。狐にだまされた人がたくさんいたとか。長野（上田方面）の民話の話、たくさん聞きたいと思いました。
- 久々に聞きました。活字を追うとはちがい、とても楽しめました。結末が気になり、ドキドキしました。ありがとうございました。
- 8人の語りにひきこまれてしまいました。1時間30分はあっという間に過ぎてしまいました。またの期の語りの会、楽しみにしております。お互い加齢の身です。お体大切に、よい話を長くお聞かせください。

。みんな、お話がむずかしかった。「クチナシの娘」が一番むずかしかったけど、帰ったら、娘はクチナシの木だったということがわかった。「五郎びつ」は、最後に五郎がいなくなったのは、食材が一人分足りなくて、自分がいなくなれば足りると五郎が思ったって思いました。おもしろかった。

(小6)

塩田平民話研究所 の 今後の催し

「民話 語りっこ 学びっこ」

川西公民館

11月17日(日)

「昔ばなし語りの会」

上田創造館

2025年1月26日(日)

とっこ館

3月23日(日)



〔事務局〕 小県郡青木村大字当郷 2072 番地 2 塩田平民話研究所 ☎ 0268-49-1231

✉ shiodadaira.minwaken@outlook.jp 🌐 <http://www.shiodadaira-minwaken.net>